

刺胞動物ヒドラで独自に進化した、 消化器系、循環器系、中枢神経系

清水 裕

アブドラ国王科学技術大学 (KAUST)

5月19日(木) 4:00PM - 5:15PM

理学部 A 館 2 階 222 号室



刺胞動物ヒドラは旺盛な再生力と網目状の散在神経系でよく知られたモデル動物です。しかし、この2点を除くと、ヒドラの日常をつかさどる生理機構などは詳しく調べられておらず、単に拡散などの原始的なメカニズムに依存していると考えられてきました。私はこのような常識が正しいかを独自に調べていますが、そこから明らかになったのは、ヒドラにも発達した消化器系、循環器系がそなわっていること、さらにそれらを制御している神経細胞は、従来、脳との進化的な関連があると考えられてきたヒドラの頭部でなくその反対側の「柄部」にあり、中枢神経系的な役割をも果たしている可能性が高いこと、などです。今回のセミナーではそれらの根拠をできるだけ平易に、かつビジュアルに述べることで、みなさんの忌憚ないお考えをいただきたいと思います。